

2024年3月期第2四半期 決算説明会

2023/11/15

2024年3月期第2四半期 決算説明

連結業績および補足指標

連結業績

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2023年3月期 第2四半期 実績	2024年3月期 第2四半期 実績	前年 同期比
売上高	481	496	+3.1%
営業利益	15	4	▲72.5%
経常利益	22	7	▲70.0%
純利益	15	▲10	—

為替レート

単位：JPY/USD

	2023年3月期 第2四半期 実績	2024年3月期 第2四半期 実績	前年同期比
単体取引高レート	127.37	139.95	+12.58円
海外子会社換算レート	123.18	135.99	+12.81円

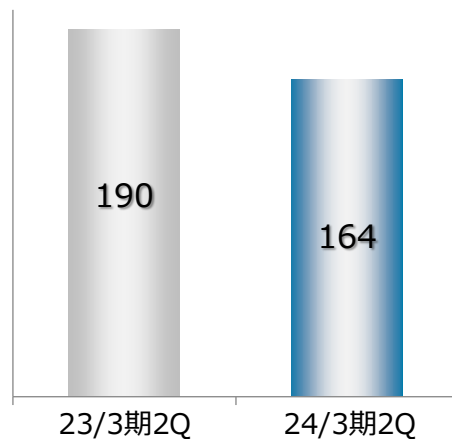
設備投資・減価償却・研究開発

単位：億円（億円未満四捨五入）

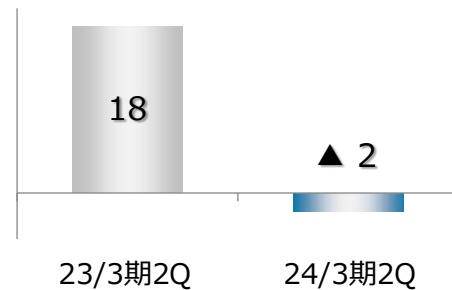
	2023年3月期 第2四半期 実績	2024年3月期 第2四半期 実績	前年同期比
設備投資	23	21	▲11.8%
減価償却費	27	27	▲2.7%
研究開発費	23	23	▲2.2%

- ◆ 中華圏景気減速等によりパワー半導体需要大幅減少も、二輪向け製品好調や円安効果で増収
- ◆ 電装事業の増収効果があるも、デバイス事業の減収影響が全体を押し下げ減益
- ◆ 純利益は繰延税金資産の取り崩しや持分法適用関連会社の投資有価証券売却損計上により減益

セグメント別売上高



セグメント別営業利益



単位：億円（億円未満四捨五入）

取り巻く環境

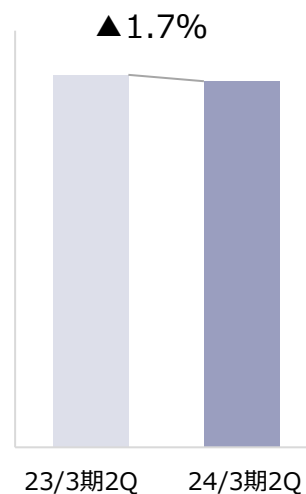
- ・ 中華圏景気の低迷、流通在庫調整続く
- ・ 自動車市場は復調の兆し

業績概況

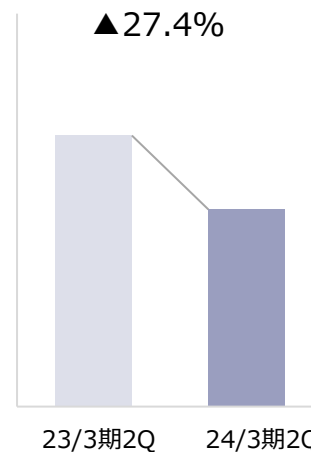
- ・ 家電市場、産機市場は低迷が続き事業全体では減収
- ・ 減収影響、生産稼働率の低下、電気料金上昇等により大幅減益

内訳

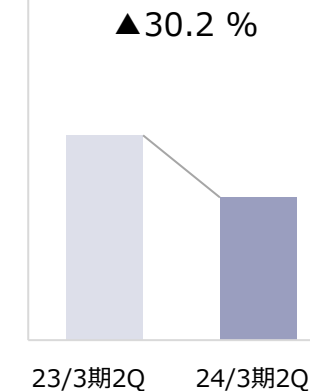
自動車



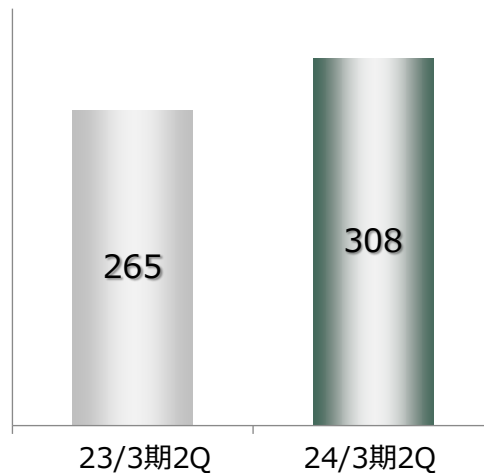
家電



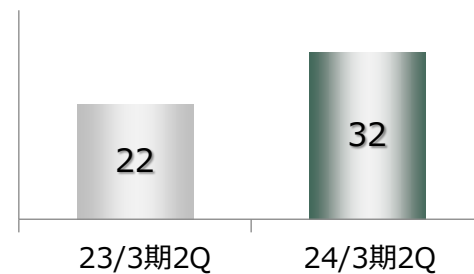
産機



セグメント別売上高



セグメント別営業利益



単位：億円（億円未満四捨五入）

取り巻く環境

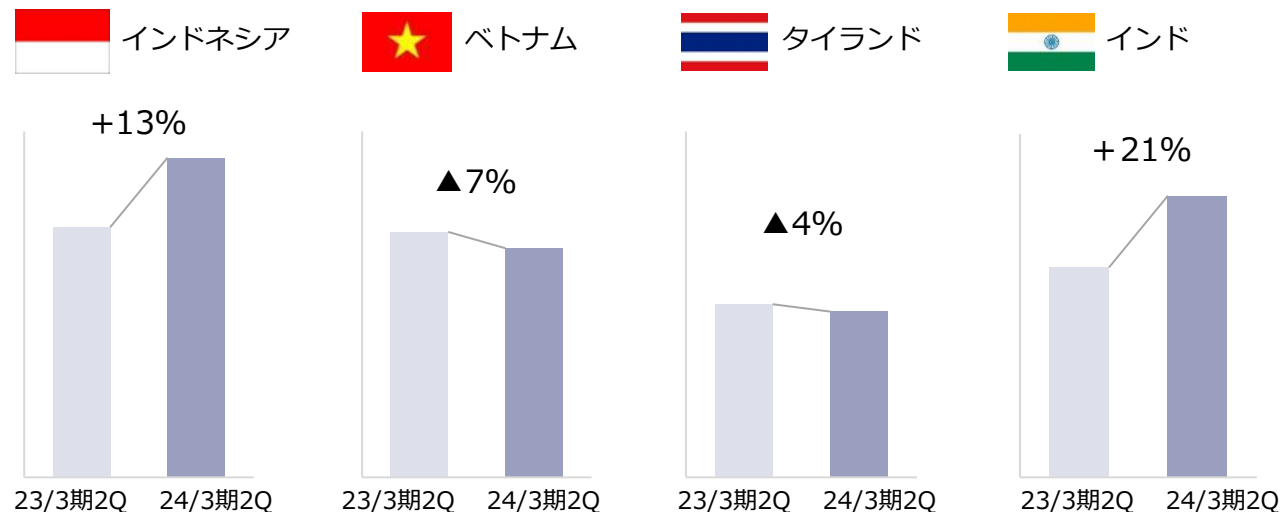
- ・ 二輪市場は概ね堅調
- ・ 対アジア通貨の為替相場は円安基調で推移

業績概況

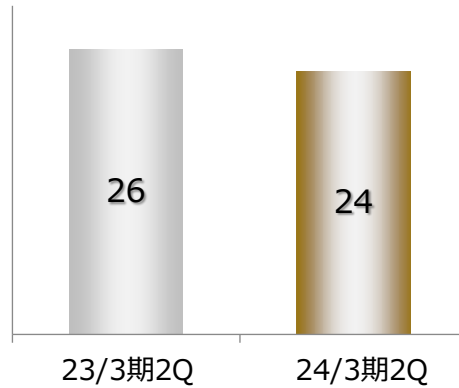
- ・ 二輪向け製品はインドネシア、インドで好調
- ・ 四輪向け製品はDC/DCコンバータ伸長
- ・ 円安効果により増収増益

内訳

現地グループ会社の二輪車向け売上高（現地通貨ベース）



セグメント別売上高

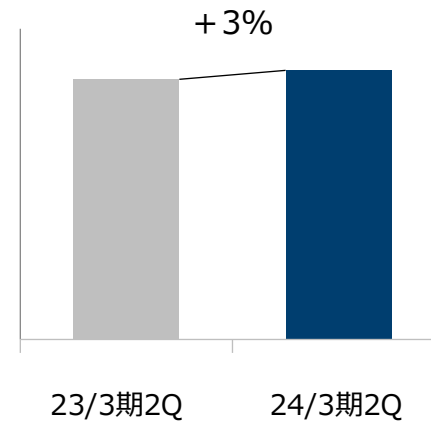


業績概況

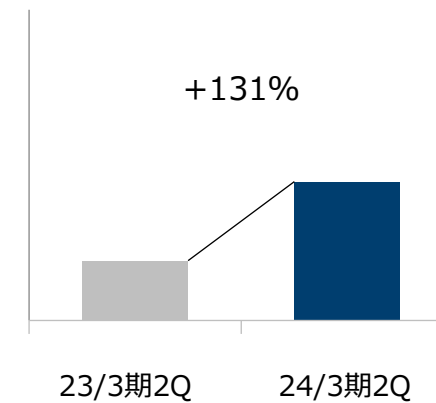
- ・ 通信インフラ向け整流装置は微増
- ・ EV充電器は売上拡大
- ・ 太陽光向けパワーコンディショナの販売終息影響で事業全体では減収

内訳

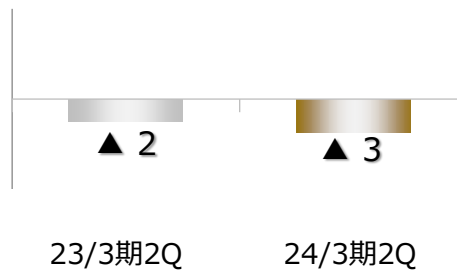
通信



EV充電器

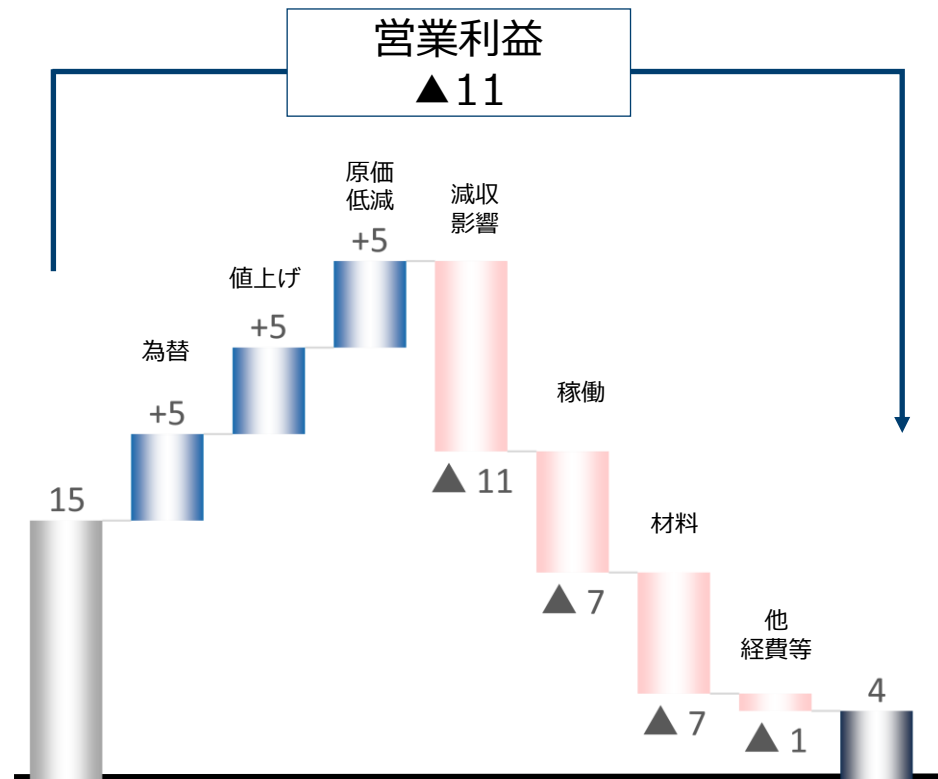


セグメント別営業利益



単位：億円（億円未満四捨五入）

要因別増減益分析

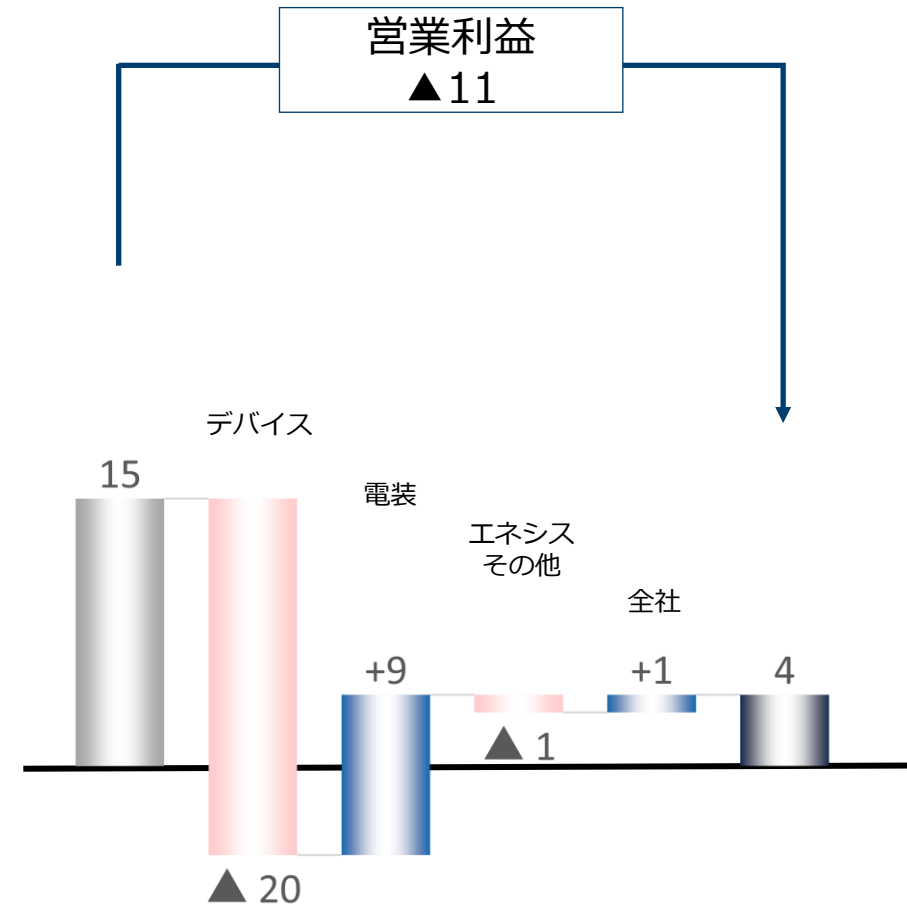


23/3期2Q

24/3期2Q

セグ別増減益分析

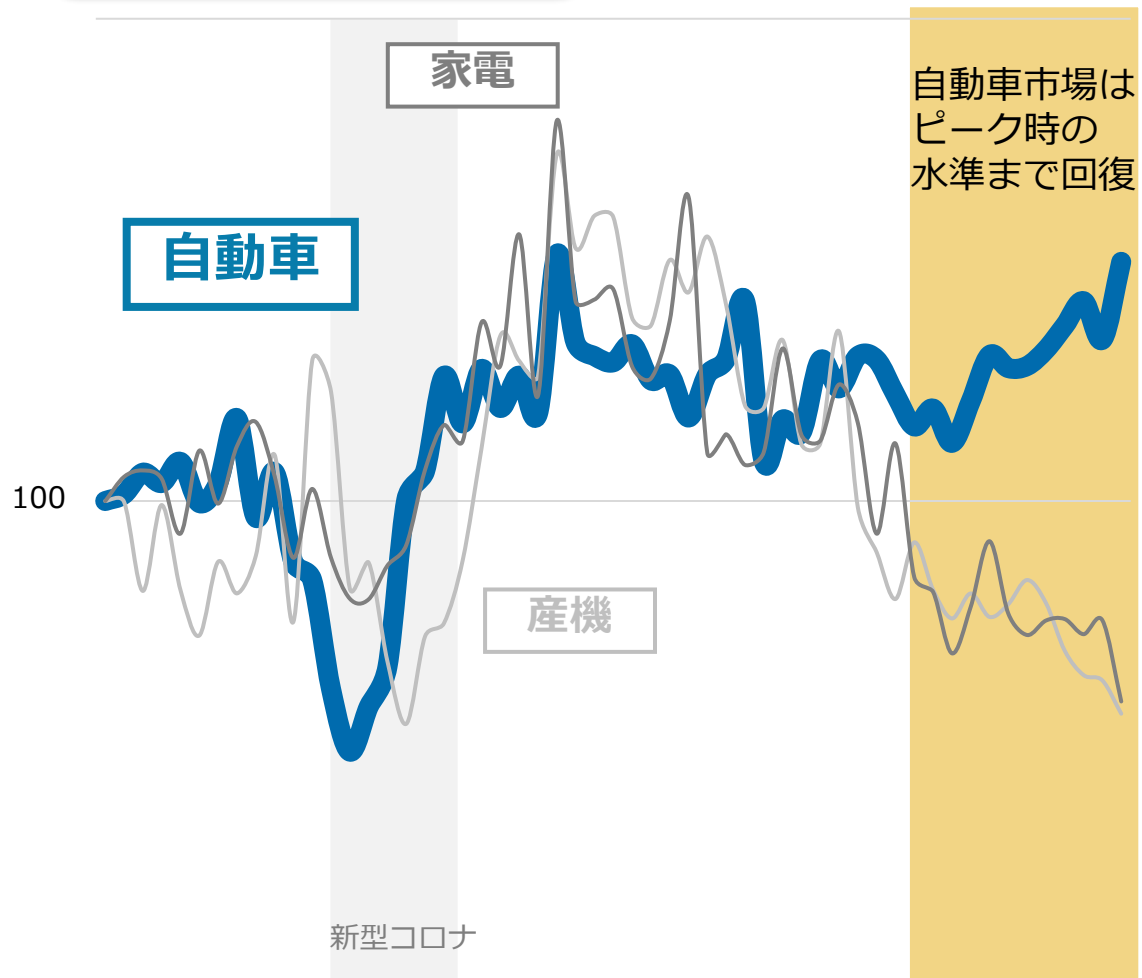
単位：億円（億円未満四捨五入）



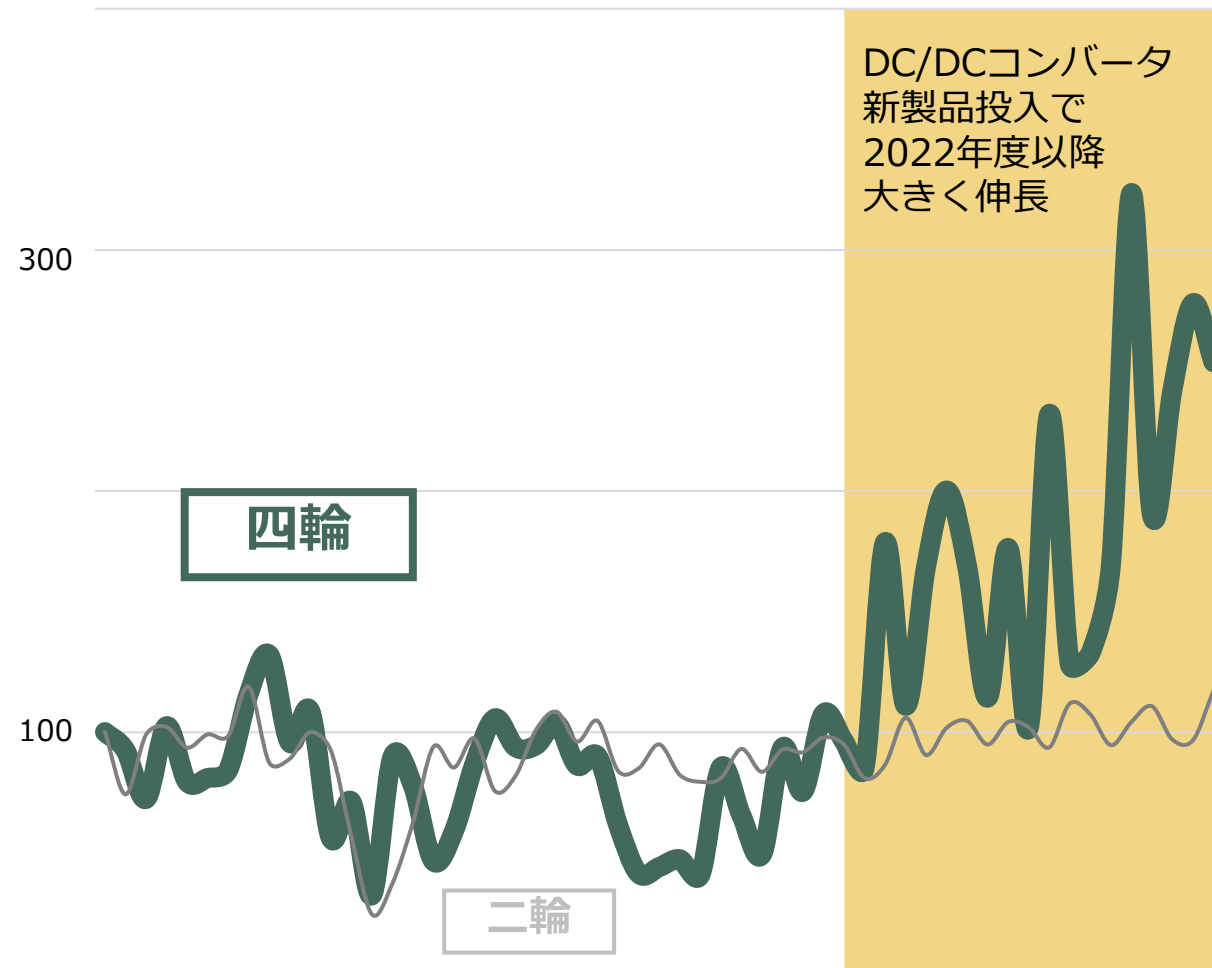
23/3期2Q

24/3期2Q

デバイス主要市場別受注推移



電装主要分類別受注推移



単体および管理会計ベースのセグメント別月次受注データ。
2019年4月度を100として、2023年10月度までを指数化

連結貸借対照表

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2023年3月期	2024年3月期 第2四半期	増減
流動資産	854	924	+8.1%
固定資産	527	553	+5.0%
資産 合計	1,381	1,477	+6.9%
流動負債	325	317	▲2.4%
固定負債	431	488	+13.2%
負債 合計	756	805	+6.5%
株主資本	560	537	▲4.1%
その他包括利益累計額	65	135	+106.5%
純資産 合計	625	672	+7.5%
総資産 合計	1,381	1,477	+6.9%
自己資本比率	45.3%	45.5%	+0.2pt.
有利子負債残高	375	427	+13.8%

- ◆資産の部 : 部材の先行手配等による棚卸資産の増加
- ◆負債の部 : 事業運転資金として長期借入金の増加
- ◆純資産の部 : 投資有価証券の時価評価および円安による換算影響で増加

2024年3月期

通期業績予想

予想比較

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2024年3月期（前回発表予想8/8）			2024年3月期（今回修正予想11/8）			比較 ①vs②
	上期	下期①	通期	上期	下期②	通期	
売上高	495	579	1,074	496	513	1,009	▲11.4%
営業利益	▲5	27	22	4	6	10	▲78.0%
経常利益	▲1	27	26	7	6	13	▲76.8%
純利益	▲15	22	7	▲10	3	▲7	▲88.3%

- ◆下期の売上高は、デバイス製品における家電・産機市場の回復遅れ影響が大きく、前回予想を下回る
- ◆下期の営業利益は、減収による付加価値の減少にくわえ、価格転嫁や原価低減活動が減収影響で想定していた効果を出せないことなどにより、前回予想を下回る

連結業績予想② および補足指標

前期比較

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2023年 3月期 実績	2024年3月期			前期比
		上期 実績	下期 予想	通期 予想	
売上高	1,010	496	513	1,009	▲0.1%
営業利益	36	4	6	10	▲72.4%
経常利益	43	7	6	13	▲70.0%
純利益	16	▲10	3	▲7	—

設備投資・減価償却・研究開発

単位：億円（億円未満四捨五入）

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比
設備投資	49	58	+17.5%
減価償却費	57	56	▲2.9%
研究開発費	47	46	▲1.3%

為替レート

1USドル = 140円

（期初予想は1USドル = 129円）

配当金

130円

（期初予想通り）

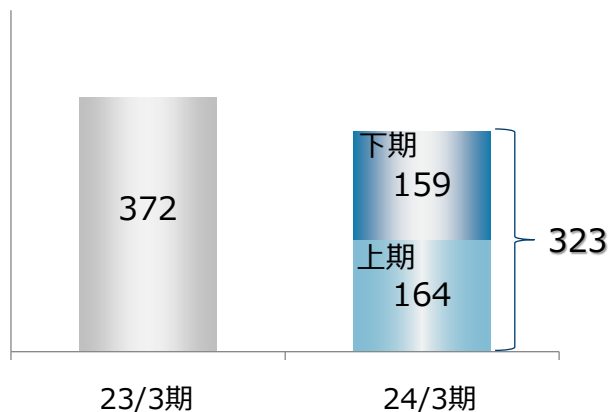
- ◆売上高はモビリティ分野が堅調も、デバイス事業の回復遅れ、前期比横ばい見通し
- ◆損益面はデバイス事業の減収影響大きく前期比減益見通し
- ◆為替相場は円安基調が続くと想定

連結業績予想（セグメント別）

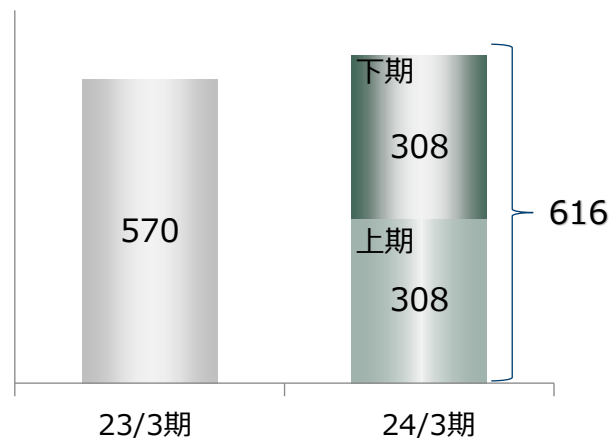
セグメント別売上高

単位：億円（億円未満四捨五入）

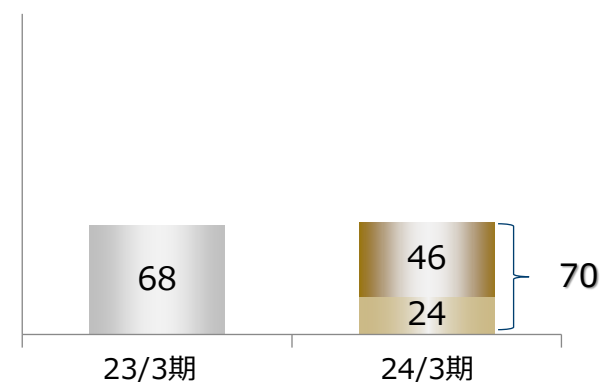
【デバイス】



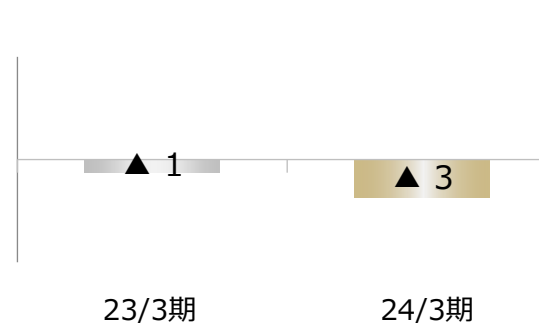
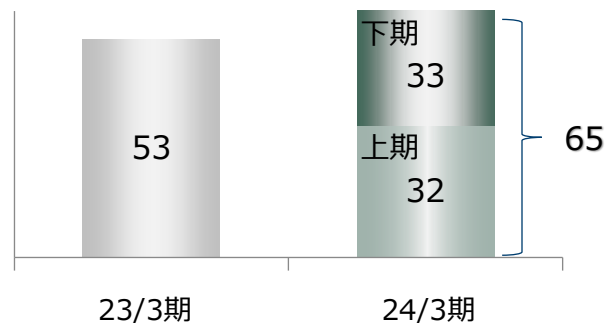
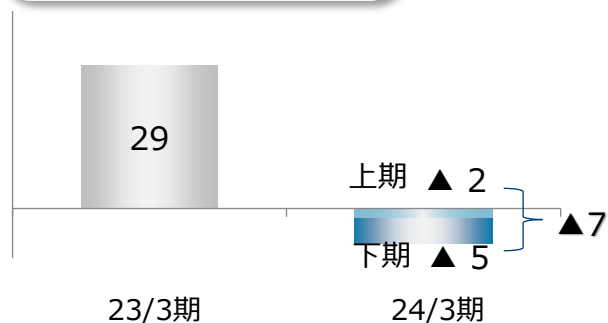
【電装】



【エネルギーシステム+その他】



セグメント別営業利益



【デバイス】

自動車市場は底を打ち上向くも、家電・産機市場低迷が響き全体で減収、損益面は減収影響大きく大幅減益見込み

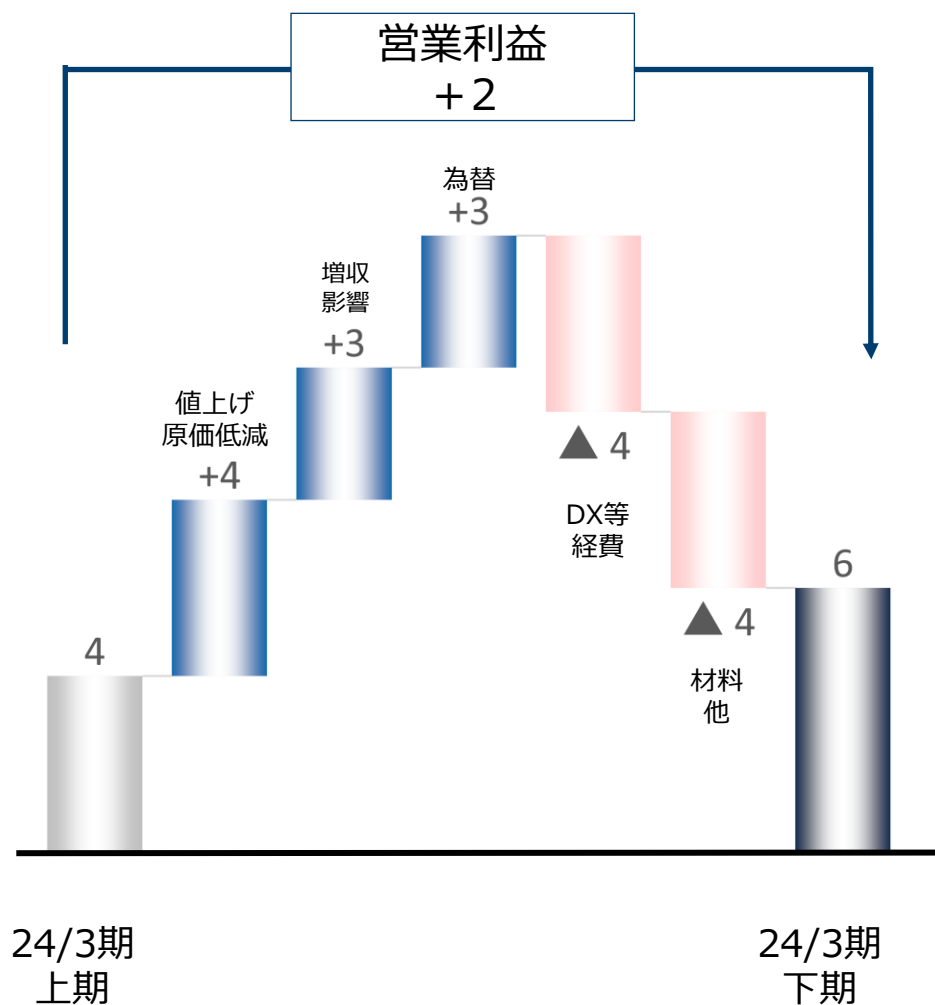
【電装】

アジア二輪市場および四輪市場伸長、円安効果もあり増収、損益面は増収・円安影響により増益見込み

【エネルギーシステム他】

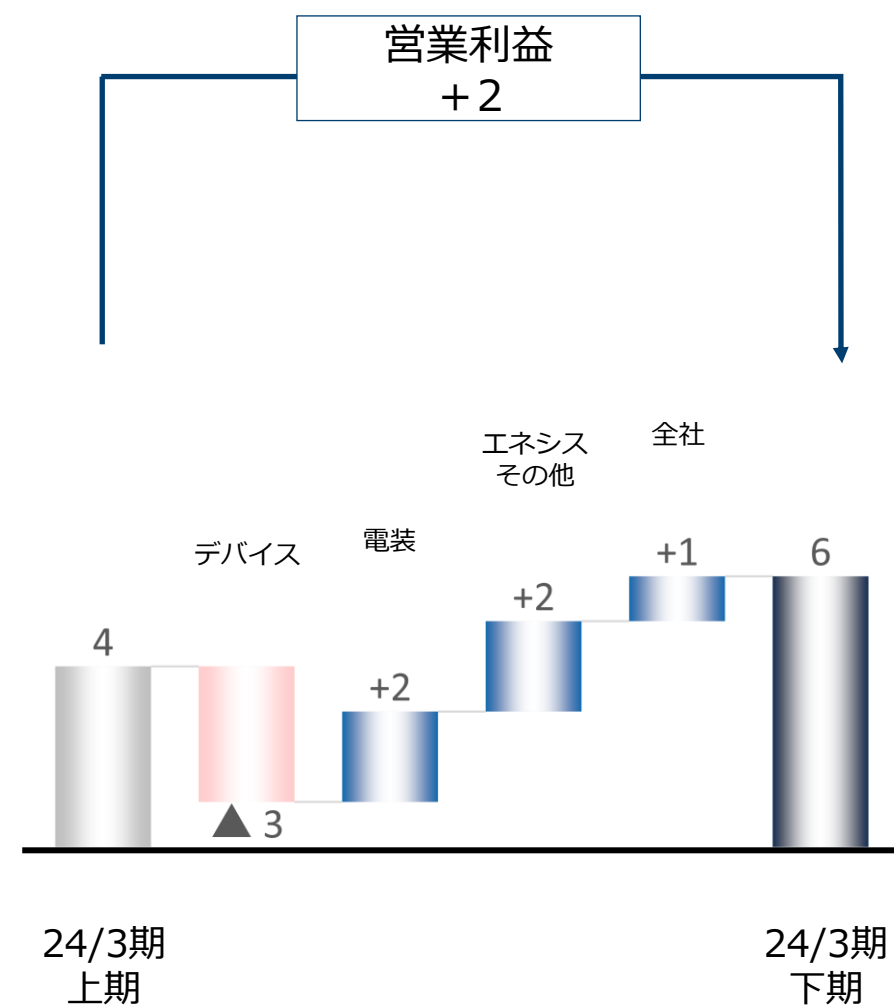
太陽光パワーコンディショナ終息だが、通信向け整流器およびEV充電器は増加

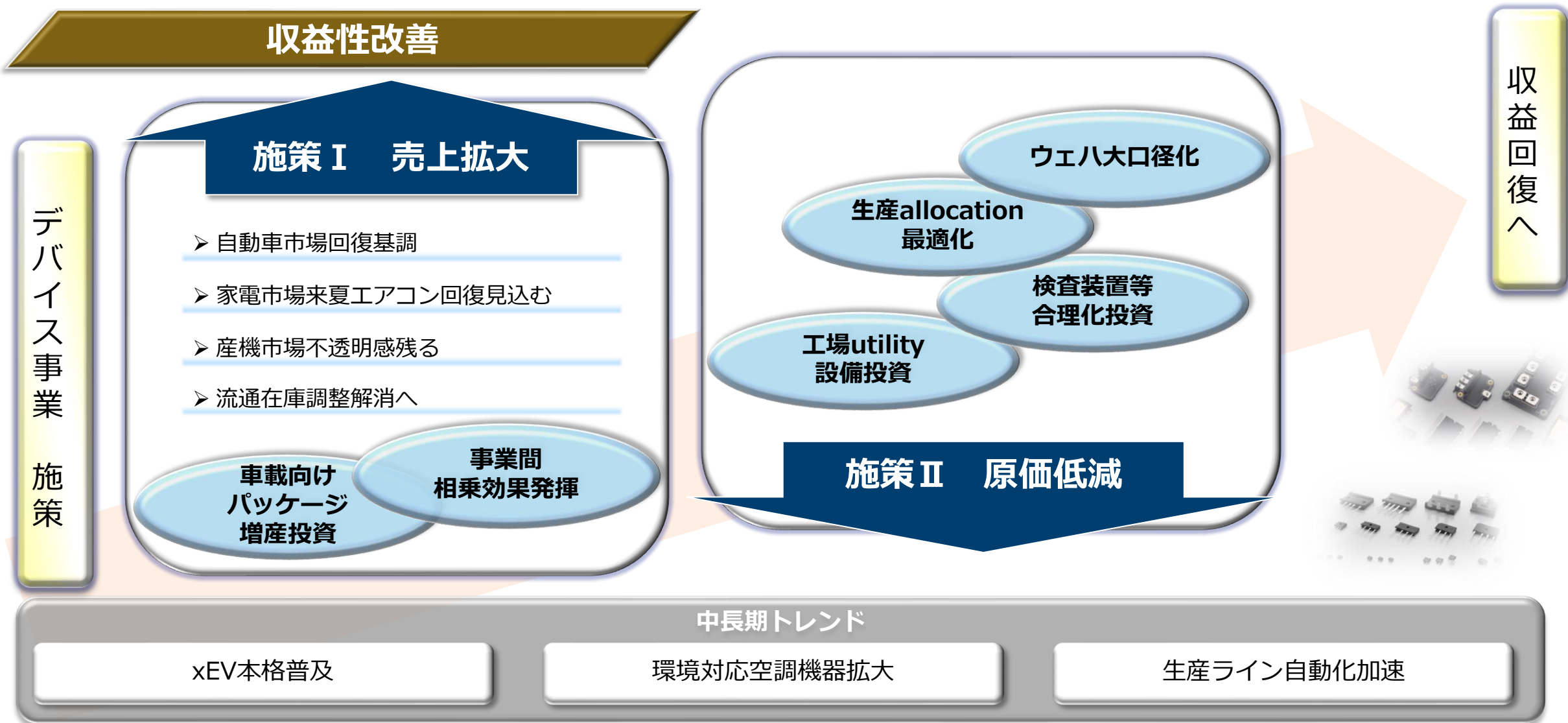
要因別増減益分析



セグ別増減益分析

単位：億円（億円未満四捨五入）

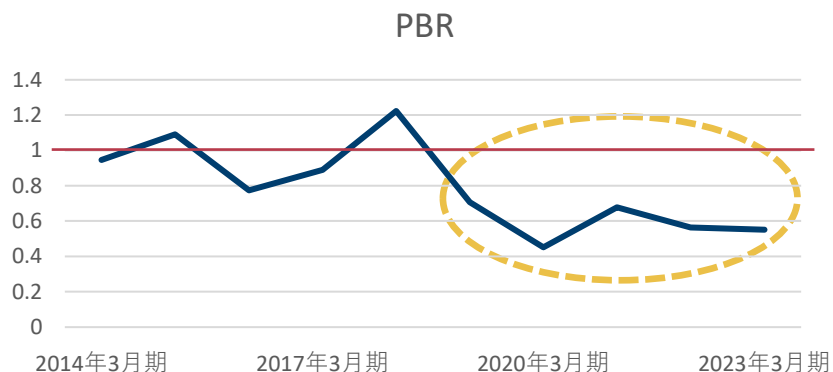




強固な収益基盤を確立、第17次中期経営計画（26/3期～3ヶ年）へ繋げる

資本コストや株価を意識した経営

現状



25年3月期までの対応内容

- 資本効率意識強化
- 事業別BS指標設定/管理（ROIC、ROE、ROA）
- ROIC向上に向けたテーマ抽出
- 次期中計への落とし込み

事業資金の適切なコントロール

- ✓ モビリティ分野への積極投資
- ✓ 安定的な配当
- ✓ 最適な財務基盤の構築

収益力の強化

- ✓ 原価低減活動の徹底
- ✓ 販売価格の適正化
- ✓ ブランディングの強化

次代に向けた製品開発

- ✓ 技術力の底上げ
- ✓ 市場が求める性能の追求
- ✓ ビジネスプロセス変革（DX）

中長期的視点でステークホルダーの期待に応える

企業ミッション

**「エネルギーの変換効率を極限まで追求することにより、
人類と社会に貢献する」**

ご清聴ありがとうございました。

本資料に記載した将来に関する見通しは、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、
多分に不確実な要素を含んでおります。
従いまして、実際の業績は、業況の変化などにより記載の見通しとは異なる結果となる可能性があります。